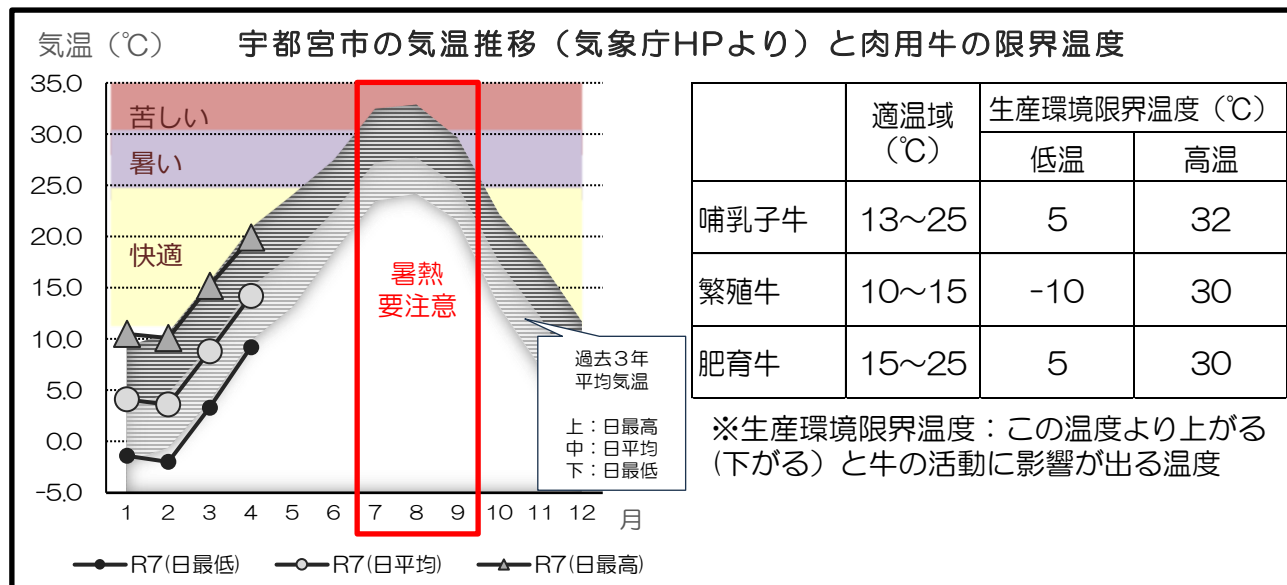


暑い夏を乗り切る暑熱対策

複数の対策の組み合わせでより快適に！



1

畜舎環境の対策

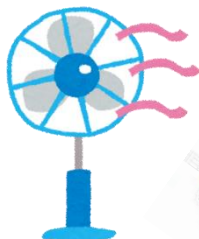
① 扇風機等での送風

- 一方向に空気が流れるように扇風機の向きを調整する
- こまめにファンを掃除する
- 首から肩に風が当たるようにする

② 屋根に石灰・断熱塗料等を塗布

- 石灰の塗布で畜舎内温度が約5℃低下した事例も
- ※作業する際は、屋根から落ちないように十分気を付けて！

風速2m/秒以上あれば、
気温30℃でも快適！
吸血昆虫の被害も抑制できるよ！



（屋根への石灰吹きつけ）

③ 屋根に散水

- 屋根が熱くなる前に行うのが効果的！
- ※排水対策は万全に！

④ 直射日光の侵入防止

- 遮光ネット、よしず、緑のカーテンを陽が差す窓際に設置

THIで暑熱ストレスを「見える化」しよう！

2 THI(温湿度指数)メーターの設置

THI(温湿度指数)とは

- 暑熱ストレスの指標として利用
- 温度と湿度から算出

THIの危険度は4段階に色分けされてメーターに表示されています。

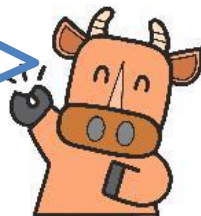
THI	危険度	色
65-69	要注意	黄色
70-74	注意	山吹色
75-79	警告	橙色
80以上	危険	赤色



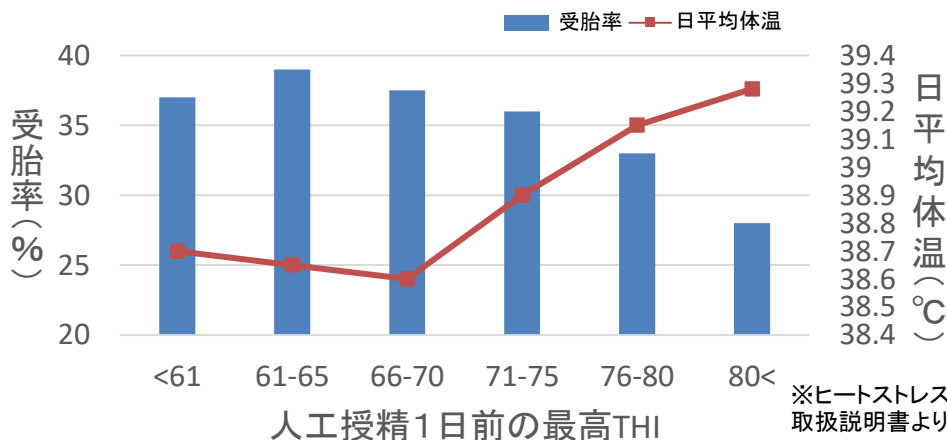
THIメーター

- THIメーターは直射日光や風が当たらない場所で、牛の肩の高さ（1.5m程）に設置しましょう。
- 水濡れに注意しましょう。

- THIの値が72を超えると暑熱によるストレスを受けるよ！
- 梅雨時期は気温は低くなるものの、湿度が高くなり、THIの値も高くなることもあるよ！
- 梅雨明けると夜でもTHIが高く推移するので注意！



THIと牛の体温・受胎率との関連性



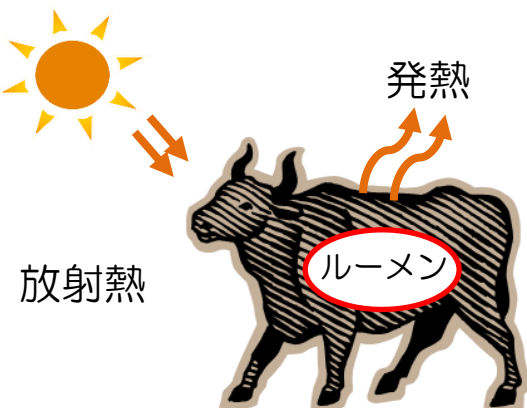
THIが上昇すると牛の体温も上昇し、受胎率にも悪影響を及ぼします。

肉用牛の暑熱対策

夏バテさせない飼養管理を！

3

飼養管理の対策



暑熱が牛に与える影響

体温の上昇……………対策①②

飼料摂取量の低下…対策②③

繁殖性の低下……………対策④

体温上昇は飼料摂取量の低下や繁殖性の低下につながります。
牛の様子を観察し、以下の対策をとっていきましょう！

対策① 体温の上昇を抑える

- 涼しい時間帯にエサやり
- 少しずつこまめにエサやり
- ワラ等は5cm程度に細断

対策② 冷たい水を十分飲む環境作り

- 水槽・ウォーターカップのこまめな掃除
- 給水設備の点検

対策③ 飼料摂取量低下の改善

- 抗酸化物質の給与
- 発汗・排尿で失ったミネラルを塩や重曹で補給

対策④ 繁殖性低下の改善

- 発情発見器具の活用
- ET（受精卵移植）の活用

→ 暑熱の影響は、2ヶ月先の繁殖性まで影響しているので要注意！！

配合飼料の選び食いでルーメンアシドーシスになりやすい時期です。

対策①をぜひ実践してください！

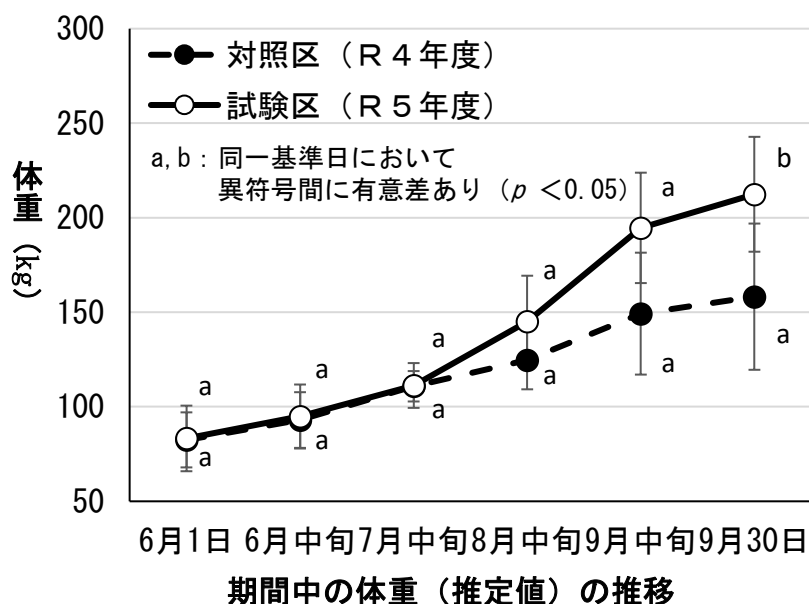
また、対応策として、エサとは別に重曹(100～200g/日)を飼槽に置いてなめさせることも効果的です。



脂肪酸カルシウム給与による発育改善

暑熱期における子牛の発育停滞の対策として、1日1頭あたり脂肪酸カルシウム50gを飼料の上にトップドレスで給与したところ、子牛の発育が改善する結果が得られています。

(R5年度に給与実施)



給与したアマニ油使用
脂肪酸カルシウム

メーカーによると、繁殖成績や肥育成績の改善に寄与するデータもあるようです。

熱中症対策

今後、高温に伴い熱中症リスクが高まることが想定されます。安全な農作業のために、熱中症の危険性を認識し、未然防止含めその対処法について理解しておきましょう。

- 高温時の作業は避けましょう
- 単独作業は避けましょう
- 20分おきに休憩し、こまめに水分・塩分を補給しましょう

熱中症には特徴的な症状がなく、暑い環境での体調不良は全て熱中症の可能性あります。体調不良の症状があれば、ただちに作業を中断し、応急処置をとりましょう。

【応急処置】

- 涼しい環境へ避難しましょう
- 衣服を緩めて風通りを良くしましょう
- 水をかけたり、扇いだりして身体を冷やしましょう
- 水分・塩分を補給しましょう